

# 自動運転サービスの 事業計画に関する市民説明会

# 目次

---

■ 和光版MaaSの概要	.....	p.3
■ 和光版MaaSによる課題解決イメージ	.....	p.4
■ 自動運転サービス導入事業とは	.....	p.5
■ バス専用車線の整備	.....	p.6
■ 自動運転サービス導入事業の実施体制	.....	p.7
■ 自動運転サービスの実施経緯		
① 1期社会実証	.....	p.8
② 1期社会実装	.....	p.9
③ 2期社会実証	.....	p.10
■ 令和7年度以降の事業計画	.....	p.11

和光市では「**全市民の移動の自由の確保**」を目標として

**現状の交通課題** →狭隘道路、急勾配、運行本数など

**将来まちづくり** →新たな拠点整備など

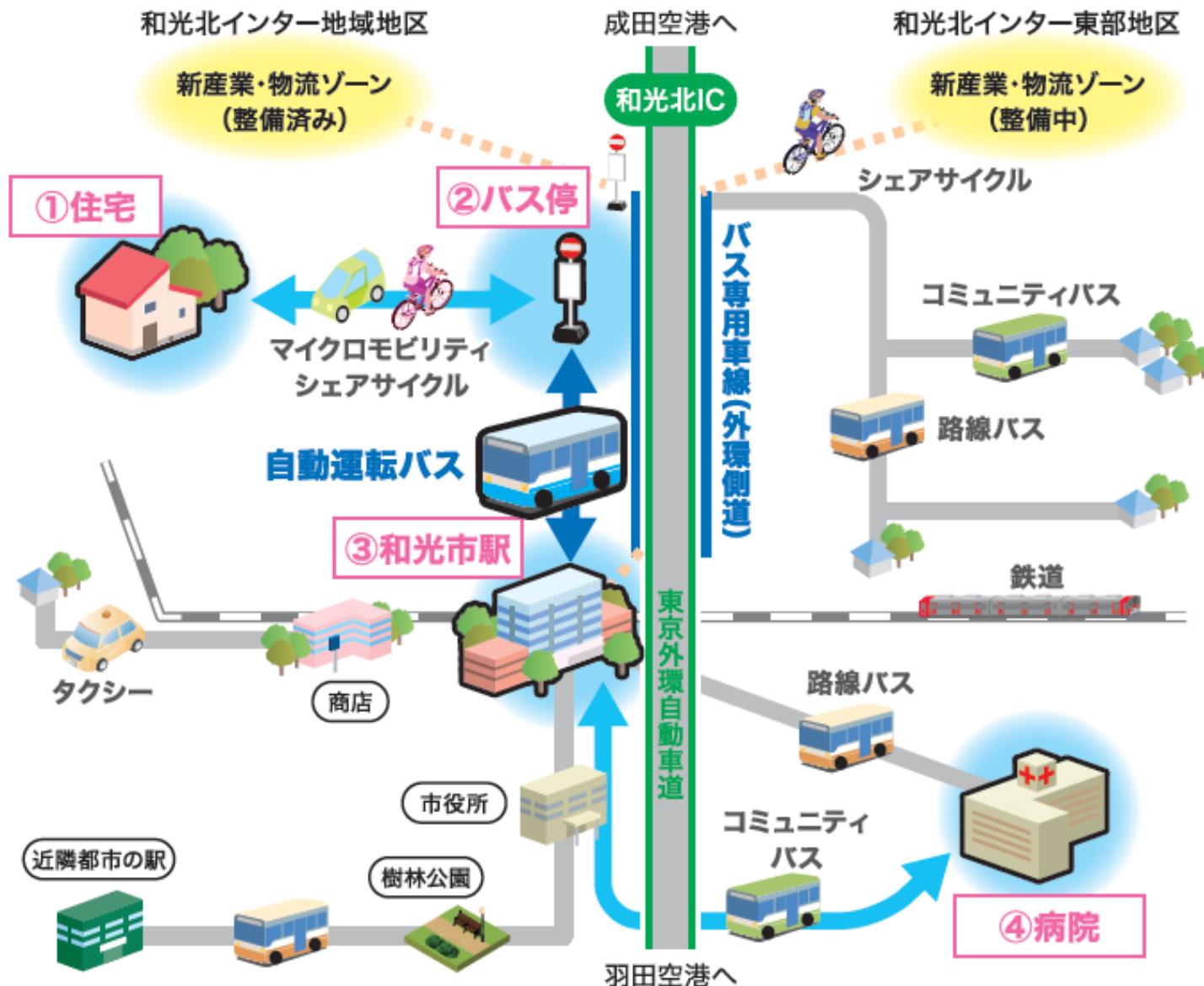
**全国的な社会課題** →超高齢社会による高齢者の移動手段の確保、運転手不足など

に対応したモビリティに関する事業として、自動運転車両による市民・就業者への移動サービスの提供と既存の公共交通等との連携を軸とした『**和光版MaaS**』を構想



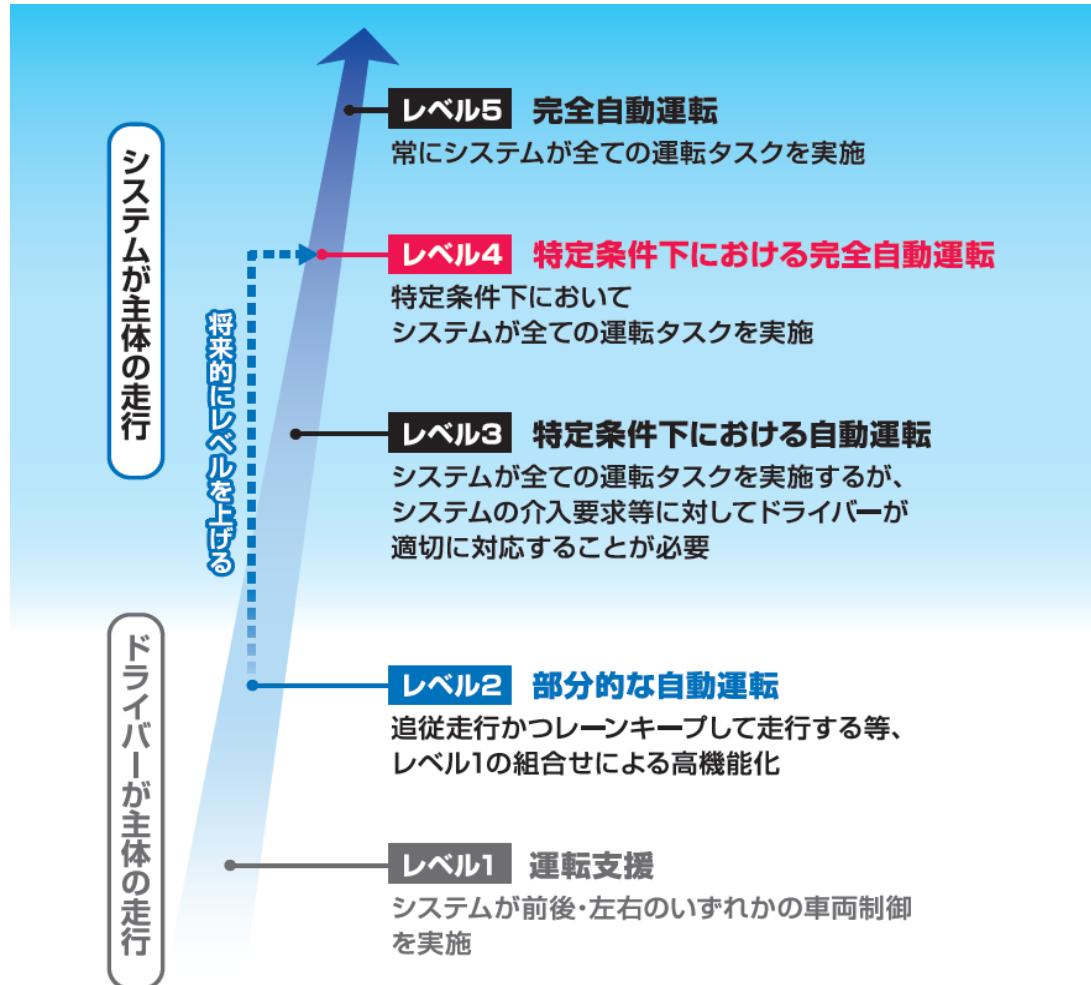
市民の様々な目的による「移動」において、既存の公共交通(循環バスや路線バスなど)と新たな移動手段(シェアサイクルなど)を専用のMaaSアプリにより最適に組み合わせて、「検索」「予約」「決済」を一括して行うサービスの提供を想定しています。

# 和光版MaaSによる課題解決イメージ



# 自動運転サービス導入事業とは

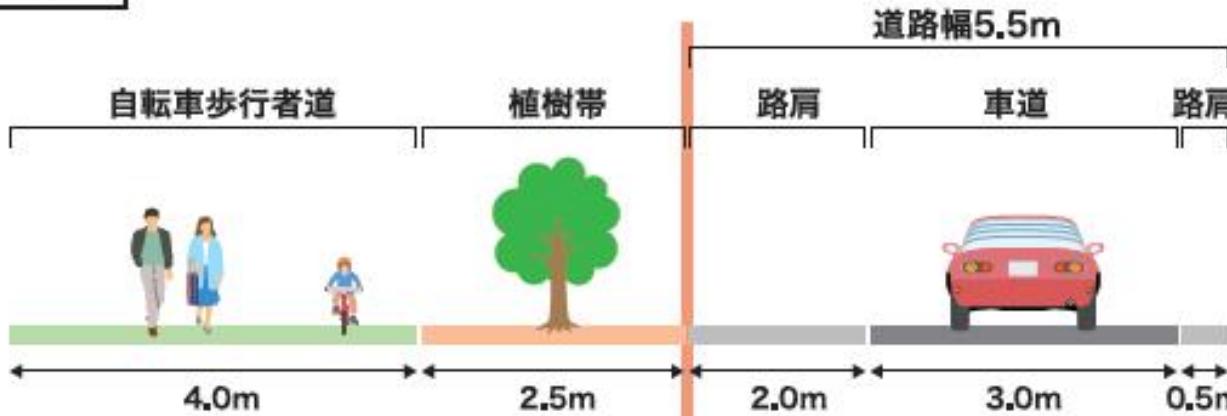
中心拠点である和光市駅と市北部の和光北インターチェンジ周辺の産業拠点を結ぶ新たなモビリティとして自動運転バスによる交通軸を形成し、市内の地域公共交通の活性化を図るとともに、将来における運転手不足への備え、既存公共交通の維持充実を図り、全市民の移動の自由を確保することを目的とします。



装置	主な用途
LiDAR (前方側方用) (側方近傍用) (後方用)	障害物検知
LiDAR (前方近傍用)	障害物検知 / 自車位置推定
障害物カメラ (近傍)	障害物検知 / 信号認知
障害物カメラ (遠方)	障害物検知
障害物カメラ (側方用)	障害物検知 / 側方車両検知
ミリ波レーダ (前方用)	障害物検知
GNSSアンテナ	GPS検知による自車位置推定
LTEアンテナ	5G通信による車両制御等

# バス専用車線の整備

現道



現道



整備後

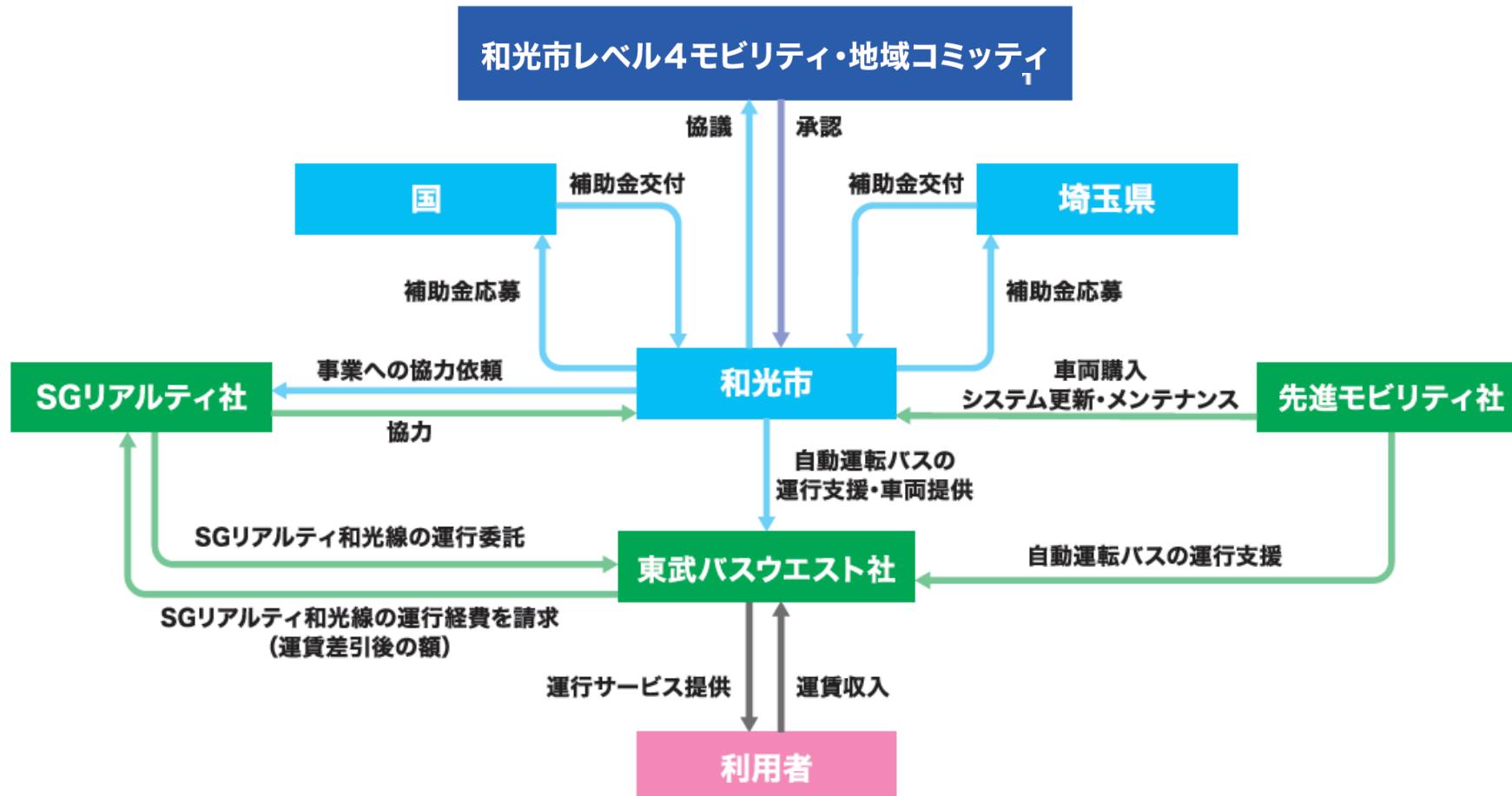


整備後



# 自動運転サービス導入事業の実施体制

自動運転サービス導入事業は、和光市レベル4モビリティ・地域コミッティにより検討を行い、事業を推進しています。



和光市レベル4モビリティ・地域コミッティとは

自動運転サービス導入事業の地域の受容性醸成を図りつつ、手続の透明性・公平性を確保し、地域のレベル4自動運転サービスの実現を加速させることを目的として設置された協議体

## 1期区間のバス専用車線において、自動運転バスをレベル2で走行させる社会実証走行を実施

運行区間	和光市駅北口→SGリアルティ和光→和光市駅北口
運行期間	2023年8月28日（月）～9月1日（金）、 9月4日（月）～9月8日（金）の平日（計10日間）
運行便数	3便/日（計31便）
乗車人数	延べ274名 ※定員10名/便
運行形式	貸切運行（事前予約制）
料金	無料



1期区間バス専用車線整備



1期社会実証出発式のようす



1期社会実証と同区間において自動運転レベル2走行を実施するとともに、乗合運行による社会実装走行を実施

運行区間	和光市駅北口→SGリアルティ和光 (回送区間: SGリアルティ和光→和光市駅北口)
運行期間	2024年1月22日（月）～3月15日（金）の平日 (計22日間)
運行便数	3便/日（計66便）
乗車人数	延べ57名 ※定員11名/便
運行形式	乗合運行（予約不要） ※着座限定
料金	200円 ※既存路線バス（和光市駅北口～SGリアルティ和光線）と同一



1期社会実装走行のようす



1期社会実装運行車両内のようす



1期区間及び2期区間のバス専用車線に加え、一般車との混在区間の一部においても自動運転レベル2走行を実施

運行区間	和光市駅北口→SGリアルティ和光→SGリアルティ和光
運行期間	2024年11月15日（金）～12月13日（金）の平日 計20日間
運行便数	3便/日（計66便）
乗車人数	延べ60名 ※定員10名/便
運行形式	貸切運行（予約システムによる事前予約制）
料金	無料



2期区間バス専用車線整備



2期社会実証のようす



# 令和7年度以降の事業計画

11

自動運転バスの安全性・公共交通の定時制を確保するため、バス専用車線の更なる整備を行う予定です(約900m)。

また、大型EV自動運転バスを購入し、大型バスによる自動運転レベル2社会実証を経て、安全かつ効果的に機能することを検証した後に、自動運転レベル4(一部区間)の社会実装を目指します。

